

立命館経済学 第46巻総目次（1997年度）

論 説

ヨーロッパ統合市場進展の意義……………	岩田勝雄	1 … 1 ( 1 ) — 17 ( 17 )
東中欧におけるネーションの形成……………	山井敏章	1 … 18 ( 18 ) — 35 ( 35 )
——W. コンツェの遺稿に寄せて——(上)		
Sustainable Development: Economic Incentives in		
Waste Management in Thailand……………	Dararatt Anantanasuwong	1 … 36 ( 36 ) — 52 ( 52 )
平成バブル不況にみる経済変動の性格と特徴……………	鈴木登	2 … 1 ( 99 ) — 18 ( 116 )
現代の国際金融・通貨問題分析の視点……………	岩田勝雄	2 … 19 ( 117 ) — 43 ( 141 )
外人投資と日本の株式市場……………	福光寛	2 … 44 ( 142 ) — 68 ( 166 )
東中欧におけるネーションの形成……………	山井敏章	2 … 69 ( 167 ) — 104 ( 202 )
——W. コンツェの遺稿に寄せて——(下)		
日本の林業・農山村と国土・環境問題……………	奥地正	3 … 1 ( 203 ) — 25 ( 227 )
EUにおける法人税制の「調和」の論理と構造……………	浅田和史	3 … 26 ( 228 ) — 47 ( 249 )
日本の海外直接投資の決定要因について……………	稲葉和夫	3 … 48 ( 250 ) — 68 ( 270 )
——従来の実証研究の検討——		
産業構造の変化と国土・環境問題（上）……………	奥地正	4 … 1 ( 305 ) — 18 ( 322 )
現代経済学における価値論について……………	高木彰	4 … 19 ( 323 ) — 44 ( 348 )
米国における冷戦経済の形成……………	藤岡惇	4 … 45 ( 349 ) — 63 ( 367 )
1997年11月の金融パニックについて……………	福光寛	4 … 64 ( 368 ) — 70 ( 374 )
日本の海外直接投資の貿易効果について……………	稲葉和夫	4 … 71 ( 375 ) — 97 ( 401 )
——従来の実証研究の検討——		
天啓としての民衆芸術……………	奥村家造	5 … 7 ( 409 ) — 27 ( 429 )
先住アメリカ人作家の世界……………	須田稔	5 … 28 ( 430 ) — 44 ( 446 )
「英語文学」論序説……………	大本達也	5 … 45 ( 447 ) — 61 ( 463 )
ヘンリー・ヴォーン <small>の</small> 詩 The World における		
永遠と時間……………	西村尚	5 … 62 ( 464 ) — 66 ( 468 )
コンピュータ利用による英語教育の可能性……………	吉田信介	5 … 67 ( 469 ) — 87 ( 489 )
——実践事例とその問題点——		
トマス・ヒューズ『トム・ブラウンの学校生活』		
再読……………	大井靖夫	5 … 88 ( 490 ) — 104 ( 506 )
サリンジャーとその周辺たち……………	森川展男	5 … 105 ( 507 ) — 120 ( 522 )
——ニューヨークに舞うユダヤ系作家たち——		
ダーシィ・マクニクル『包囲されて』……………	西村頼男	5 … 121 ( 523 ) — 127 ( 529 )
——合衆国先住民の小説——		

Golden Apple への道程……………	岩田典子	5… 128 (530) — 135 (537)
——“A Solemn Thing within the Soul”を中心に——		
『オリヴァ・トゥイスト』の日本語訳……………	藤村公輝	5… 136 (538) — 148 (550)
——ディケンズ翻訳史のひとつこま——		
「イーサン・ブランド」……………	高島清	5… 149 (551) — 157 (559)
——〈許されざる罪〉の本質——		
20世紀の版本と編纂における Q 1 Hamlet……………	野口忠昭	5… 158 (560) — 177 (579)
J. London, The Road——19世紀アメリカ社会の		
インサイド・ストーリー——を読む……………	辻井榮滋	5… 178 (580) — 203 (605)
ケインズの不均衡分析……………	松川周二	5… 204 (606) — 224 (626)
エリセーエフとネフスキイ……………	桧山真一	6… 3 (631) — 18 (646)
——水田紀久, 河合忠信, 日野貴夫三氏の問題提起に寄せて——		
「ソフィアの歌」と大黒屋光太夫……………	生田美智子	6… 19 (647) — 39 (667)
近代ユダヤ史における東欧と西欧……………	角伸明	6… 40 (668) — 56 (684)
——ハシディズムとハスカラーの歴史的評価に関して——		
「ネヴァ河の幻」の変容……………	松本賢一	6… 57 (685) — 68 (696)
——『弱い心』から『罪と罰』へ——		
<b>НЕСКОЛКО СЛОВ ОЪ ОКУМУРА</b>		
КАЦУДЗО-СЭНСЭЙ……………	Георгий СВИРИДОВ	6… 69 (697) — 72 (700)
国民国家と異文化交流……………	西川長夫	6… 73 (701) — 84 (712)
——文化交流を妨げるものと促進するものとの関係についての理論的考察——		
アラゴンの『現代文学史草案』について……………	川上勉	6… 85 (713) — 106 (734)
これもまたヘルダー論のためのひとつの試み……………	松宮秀治	6… 107 (735) — 121 (749)
『文學論』の「失敗」と漱石のリアリズム……………	中村泰行	6… 122 (750) — 149 (777)
発話行為 (Speech Acts) にあられる言語文化……………	Lee 風子	6… 150 (778) — 164 (792)
——日本語母語話者の特徴——		
戦後日本財政の時期区分……………	坂野光俊	6… 165 (793) — 183 (811)
——『図説日本の財政』の検討——		
市場経済化の「ロシア的なもの」……………	芦田文夫	6… 184 (812) — 207 (835)
西園寺公望のフランス語蔵書……………	奥村功	6… 208 (836) — 225 (853)
従破壊到復興?……………	金丸裕一	6… 226 (854) — 239 (867)
——從經濟史來看「通往南京之路」——		

## 研 究

過渡期チェコにおける経営主体の形成……………	小林佐和枝	1… 53 ( 53) — 73 ( 73)
——外資と政府の役割を中心に——		
リカードの労働価値理論について……………	福田進治	3… 69 (271) — 95 (297)

書 評

高木 彰著『現代経済学の基礎理論』（創風社，1996年）……………高 倉 泰 夫 3 … 96（298）— 101（303）

そ の 他

共同研究室…………… 1 … 97（97）— 98（98）  
 故日高正好先生追悼号に寄せて……………杉 野 罔 明 5 … 1（403）  
 日高正好君を偲んで……………宮 地 國 敬 5 … 3（405）— 6（408）  
     —その著書といくつかの思い出—  
 故日高正好教授略歴・主要著作目録…………… 5 … 225（627）— 226（628）  
 奥村剋三教授退任記念論文集の刊行に寄せて……………杉 野 罔 明 6 … 1（629）  
 ブブノーアさんの思い出……………奥 村 剋 三 6 … 240（868）— 241（869）  
 奥村剋三教授略歴・主要著作目録…………… 6 … 242（870）— 246（874）  
 共同研究室・第46巻総目次…………… 6 … 247（875）— 251（879）

学位論文審査報告

1996年度修士学位請求論文要旨…………… 1 … 74（74）— 96（96）